

第6次水俣市総合計画策定市民ワークショップ 参加者アンケート（集計結果）

開催日：平成30年6月30日（土）

本日の市民ワークショップについてお尋ねします。

質問1 今日の内容はどうでしたか（あてはまる番号を○で囲んで下さい。）

1 おもしろかった	20 人
2 普通	2 人
3 おもしろくなかった	0 人

※ 以下、原文をそのまま記載しています。

質問2 どういったところがおもしろかったですか。また、おもしろくなかったですか。

- ・意見が新鮮でした。高校生に限らず。
- ・魅力的な人達のグループで、それぞれの素晴らしいご意見や考えをいただき刺激を受けました
- ・高校生を始め様々な方とお会いすることができたこと。
- ・高校生との交流が楽しかった。
- ・若い子(高校生)の考えを聞くことができた。
- ・多様な人達と水俣の未来について意見を出し合えたので、自分では気づけないことも色々聞けた。
- ・様々な職業の人の意見が聞けたところ。
- ・いろいろな意見やアイデアが面白かったです。
- ・高校生も含め色々な立場の方の意見を聞けた。
- ・色々な話が聞けた。
- ・高校生と、さまざまな課題について議論できたこと。
- ・高校生のSGHの取り組みからワークショップのテーマが面白かった。
- ・地域の方々の生の意見が聞けたこと。
- ・初めて会う方と共通点があったこと。今後につながる機会でした。
- ・異年齢、異業種、高校生の意見がいろいろと聞けて良かった
- ・みんなで考える機会は大切ですし、おもしろかったです。
- ・グループ討議でみんなの話が聞ける場所でした。時間は足りなかったです。
- ・高校生ならではの意見を聞けて良かった。
- ・他職種、いろんな意見が沢山出るのが面白い所かなと思った。
- ・いろんな人の考えにふれることができた。
- ・初めてお会いする方々と話ができ、つながりができたこと。
- ・防災に関して意識をすることができました。
- ・時間的に無理がある。

質問3 高校生の発表を聞いた感想をお書きください。

- ・もっと、ストレートな意見を聞かせて欲しいな。
- ・今どきの高校生はしっかりしている！自分の意見をちゃんと持っている。こういう子達は、水俣に残ってこれから活躍して欲しい！
- ・この子たちが望むような未来を作る、近づけるのが今の自分達のやるべき(目指す)事だと思った。
- ・大人じゃ気付かないような視点からの水俣の姿について聞いて勉強になった。
- ・高校生の思いがしっかりとされていた。
- ・問題提起ができていると思った。
- ・行政希望、心強い！
- ・水俣で働きたいと思っている高校生が思いのほか多く、彼らが戻ってきた時がっかりしないまちにしたいと
- ・改めていろいろな考えが心めぐりました。
- ・よく調べたな、と。
- ・純粋な意見に心洗われる思いだった。
- ・3年間の活動を通してのテーマ選定の編さんが興味深かった。
- ・水俣の未来を考えていることが分かった。
- ・地元に残りたいという考えを持つ高校生のグループでした。活気ややりがいがあるまちを作るためには「雇用」を作らなければならない所、どうしていけば良いか深く考えさせられました。
- ・しっかり学びを深めているんだと感心しました。
- ・水俣に残り、よい良いまちにしたいです。
- ・全員、よく考えて、プレゼンをされていました(市民の一人としてうれしいです)。

- ・自分の高校時代に、防災を学ぶとか、意識がなかったので感心しました。他の学生さん、意識が高くすごく感心しました。
- ・真剣に水俣の未来を考えているのが伝わりました。
- ・若い人たちが身なりの水俣について、こんなにも考えているのかと思うと、もっと自分のできることがあるのではないと思う。
- ・とてもよく考えていると思いました。
- ・これからの水俣をつくっていく高校生の話は頼もしかったです。
- ・環境問題、特に水俣の取り組みの善い所ばかりを学んでいて、その裏にひそむ市民の不満などを知らないと思う。
- ・もう少し具体的な案があったらよかった。
- ・もう少し自由でもいいかな…(できれば原稿なしでの…)
- ・熱がない。
- ・もっと世の中をみて、かんじてくる。

質問4 今回のワークショップで印象に残ったことは何ですか。

- ・すごく自然な感じがしました。
- ・それぞれ生きているフィールドで、自分の言葉をちゃんと持っている人が沢山いらっしやること。
- ・高校生の発表。
- ・高校生がさわやか！
- ・世代や業種を超えて人と関わる事の重要性。
- ・色々な方との関わり、楽しかった。
- ・小さなまちであることを生かすという考えのほか価値観の転換が必要と感じる(心の豊かさに重点を置く)
- ・色々な人の話が聞けたということが一番です。
- ・初回だったので、遠慮があつて少しぎこちない印象。
- ・それぞれの年代、立場、職種からの意見が出て良かった。
- ・新しい価値感に出会えた。
- ・皆さん水俣に対していろいろ考えていること。
- ・どのグループからも、同じような課題、資源が見えてきたと思う。
- ・できることの一步を踏み出す。市民の意識向上が必要だと感じました。
- ・高校生の10年後に期待していることの話。
- ・交流
- ・高校生が参加されていたこと。
- ・自分が住む地域を自分で作る意識はずばらしい。
- ・テーマがぼやけている。
- ・高校生が緊張されていたのか、グループワークの中での声が出なかったのも、高校生の生の本音が聞ける雰囲気や環境を作ったらいいかなと思い、残念だった。
- ・高校生がおとなしかった。
- ・「音楽」が水俣にねむっている。

質問5 次回以降のワークショップに何を期待しますか。ほか、自由意見

- ・建設的な意見が出て→それをまとめ→市が形にする→具現化
- ・市長・校長先生も一緒に参加できたらよかったです。
- ・前向きな思考で取り組めるワーク。
- ・とても楽しい時間でした。
- ・突飛な意見でも何かアイディアにつながると思うので、いろいろな発言をしやすい場づくりを続けてほしいです。
- ・時間が足りない。
- ・行政への提言というところで、より具体的な内容にしてほしい。
- ・より良い水俣にするための具体的な施策を提言しなければならない。
- ・本音、問題点、課題
- ・市民の生の声をどんどん聞いてください。
- ・本日はお疲れ様でした。
- ・テーマを具体的に！
- ・ぜひ、総合計画に今後この場に出た意見を盛り込んでほしいです。
- ・今、水俣を勉強中ですので期待しています。